

運用報告書 (全体版)

第48期<決算日2023年12月5日>

ファンド “メガ・テック”

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／国内／株式
信託期間	原則、無期限です。
運用方針	主としてわが国の株式へ投資することで、信託財産の成長を目標に運用を行います。株式への投資にあたっては、今後の高い成長が期待できる産業を選定し、その産業の中から特に優れたテクノロジーを有し、競争優位を保持できる企業に投資します。
主要投資対象	わが国の取引所上場株式および海外取引所上場株式（もしくはそれに準ずるものも含みます。）を主要投資対象とします。
運用方法	今後の高い成長が期待できる産業を選定し、その産業の中から特に優れたテクノロジーを有し、競争優位を保持できる企業に投資し、信託財産の成長を目標に運用を行います。
組入制限	株式への投資には制限を設けません。外貨建資産への投資は、信託財産の純資産総額の30%以下とします。
分配方針	分配対象額の範囲は、繰越分を含めた利子・配当収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。分配金額は、基準価額水準・市況動向等を考慮して決定し、毎期分配を行います。留保益の運用については、特に制限を設けず、運用の基本方針に基づいた運用を行います。

受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

さて、「ファンド “メガ・テック”」は、2023年12月5日に第48期の決算を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

<運用報告書に関するお問い合わせ先>

コールセンター：0120-104-694

受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで

お客さまのお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

アセットマネジメントOne 株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2

<https://www.am-one.co.jp/>

■最近5期の運用実績

決算期	基準価額			東証株価指数(TOPIX)		株式組入率	株式先物比率	純資産額
	(分配落)	税金	騰落率	(参考指数)	騰落率			
44期 (2021年12月6日)	円 12,889	円 50	% 7.1	ポイント 1,947.54	% △0.7	% 96.2	% -	百万円 9,904
45期 (2022年6月6日)	11,102	0	△13.9	1,939.11	△0.4	93.6	-	10,000
46期 (2022年12月5日)	11,513	35	4.0	1,947.90	0.5	92.9	-	10,829
47期 (2023年6月5日)	12,812	65	11.8	2,219.79	14.0	96.0	-	11,712
48期 (2023年12月5日)	12,360	0	△3.5	2,342.69	5.5	96.1	-	10,823

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注2) 株式先物比率は、買建比率-売建比率です。

(注3) 東証株価指数(TOPIX)の指数値および同指数にかかる標章または商標は、株式会社J P X総研または株式会社J P X総研の関連会社(以下「J P X」という。)の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよび同指数にかかる標章または商標に関するすべての権利はJ P Xが有しています。J P Xは、同指数の指数値の算出または公表の誤謬、遅延または中断に対し、責任を負いません。本商品は、J P Xにより提供、保証または販売されるものではなく、本商品の設定、販売および販売促進活動に起因するいかなる損害に対してもJ P Xは責任を負いません(以下同じ)。

(注4) △(白三角)はマイナスを意味しています(以下同じ)。

■当期中の基準価額と市況の推移

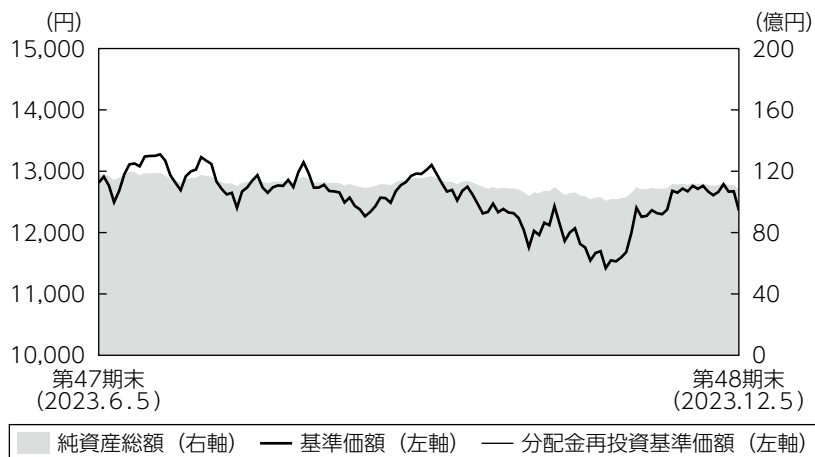
年月日	基準価額		東証株価指数(TOPIX)		株式組入率	株式先物比率
	騰落率	騰落率	(参考指数)	騰落率		
(期首) 2023年6月5日	円 12,812	% -	ポイント 2,219.79	% -	% 96.0	% -
6月末	13,028	1.7	2,288.60	3.1	95.9	-
7月末	12,987	1.4	2,322.56	4.6	94.9	-
8月末	12,924	0.9	2,332.00	5.1	93.2	-
9月末	12,317	△3.9	2,323.39	4.7	94.7	-
10月末	11,594	△9.5	2,253.72	1.5	93.6	-
11月末	12,789	△0.2	2,374.93	7.0	95.4	-
(期末) 2023年12月5日	12,360	△3.5	2,342.69	5.5	96.1	-

(注1) 騰落率は期首比です。

(注2) 株式先物比率は、買建比率-売建比率です。

■当期の運用経過（2023年6月6日から2023年12月5日まで）

基準価額等の推移



第48期首：12,812円
第48期末：12,360円
(既払分配金0円)
騰落率：△3.5%
(分配金再投資ベース)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
- (注4) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

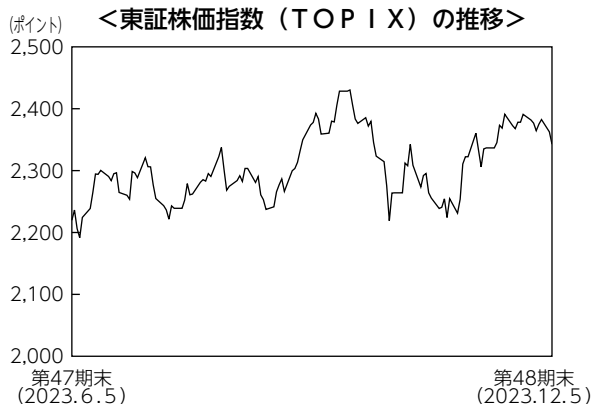
基準価額の主な変動要因

高い成長が期待できる産業として情報・通信産業に着目し、その中で、IT（情報技術）関連分野で優れたテクノロジーを有し、競争優位を保持できるような企業などに投資を行いました。

個別銘柄では、楽天銀行、テラプローブ、日本アビオニクスなどの銘柄が基準価額の上昇に寄与しました。一方、キーエンス、アドベンチャー、ダイキン工業などの銘柄が基準価額の下落要因となりました。

投資環境

国内株式市場は、米国の金融政策の引き締め姿勢や中東での紛争拡大懸念などで下落する局面もありましたが、国内企業の堅調な業績動向や米国の物価上昇率の落ち着きなどがプラス要因となり、上昇しました。

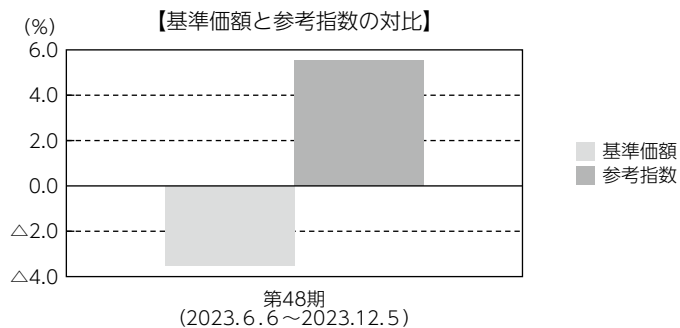


ポートフォリオについて

高い成長が期待できる産業として情報・通信産業に着目し、その中でIT（情報技術）関連分野で優れたテクノロジーを有し、競争優位を保持できるような企業などに投資を行いました。銘柄選択および運用にあたっては、マクロ・アプローチとボトムアップ・アプローチを組み合わせを行いました。売買では、東京エレクトロン、イビデン、ディスコなどの買い付けを行う一方、ダイキン工業、ファナック、小松製作所などの売却を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。
グラフは、基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

分配金

収益分配金につきましては基準価額水準・市況動向等を勘案し、無分配とさせていただきます。なお、収益分配金に充てなかった利益は信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

■分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	当期
	2023年6月6日 ～2023年12月5日
当期分配金（税引前）	－円
対基準価額比率	－%
当期の収益	－円
当期の収益以外	－円
翌期繰越分配対象額	7,043円

(注1) 「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第3位を四捨五入しています。

(注3) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

今後の運用方針

高い成長が期待できる産業として情報・通信産業に着目し、その中でIT（情報技術）関連分野で優れたテクノロジーを有し、競争優位を保持できるような企業などに投資を行います。銘柄選択および運用にあたっては、マクロ・アプローチとボトムアップ・アプローチを組み合わせて行います。

2024年度は、経済活動の正常化によるプラス効果が徐々に一巡してくることや、米国の金融引き締めによる需要抑制効果が想定されますが、賃上げの動き、半導体やエネルギー、防衛分野などで見られる国内産業再建に向けた投資、官民挙げてのデジタル化投資、エレクトロニクス分野などで見られる在庫調整一巡からの新たな成長ステージ入り、国際情勢から見た日本の優位性の高まりなどプラス要因は多いと考えています。

日本のIT関連市場は成長期にあると考えており、AIやロボット、半導体、通信インフラ、ITサービスなどに関連する企業に注目していきます。

ファンドマネージャー 関口 智信

■ 1万口当たりの費用明細

項目	第48期		項目の概要
	(2023年6月6日 ～2023年12月5日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	104円	0.826%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は12,563円です。 投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各種書類の作成、基準価額の算出等の対価 販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価 受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(投信会社)	(48)	(0.386)	
(販売会社)	(48)	(0.386)	
(受託会社)	(7)	(0.055)	
(b) 売買委託手数料	3	0.022	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、組入有価証券等の売買の際に発生する手数料
(株式)	(3)	(0.022)	
(c) その他費用 (監査費用)	0 (0)	0.001 (0.001)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
合計	107	0.849	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

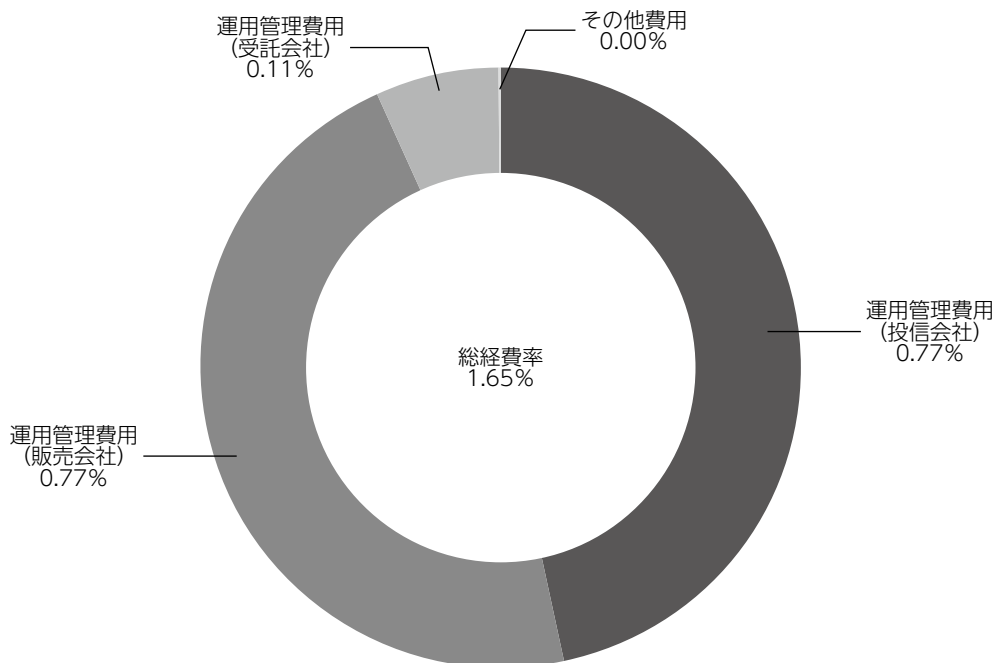
(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

◆総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.65%です。



(注1) 1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買及び取引の状況（2023年6月6日から2023年12月5日まで）

株 式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
国 内 上 場		千株 432.8 (192)	千円 2,095,964 (-)	千株 546.2	千円 2,589,604

(注1) 金額は受渡代金です。

(注2) () 内は株式分割、増資割当および合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期 中 の 株 式 売 買 金 額	4,685,569千円
(b) 期 中 の 平 均 組 入 株 式 時 価 総 額	10,558,440千円
(c) 売 買 高 比 率 (a)/(b)	0.44

(注) (b)は各月末の組入株式時価総額の平均です。

■利害関係人との取引状況等（2023年6月6日から2023年12月5日まで）

(1) 期中の利害関係人との取引状況

決 算 期 区 分	当 期			期		
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	B/A	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	D/C
株 式	百万円 2,095	百万円 184	% 8.8	百万円 2,589	百万円 779	% 30.1

(2) 利害関係人である金融商品取引業者が主幹事となって発行される有価証券

種 類	当 期
	買 付 額
株 式	百万円 62

(3) 売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

項 目	当 期
売 買 委 託 手 数 料 総 額 (A)	2,429千円
う ち 利 害 関 係 人 へ の 支 払 額 (B)	530千円
(B)/(A)	21.8%

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当期における当ファンドにかかる利害関係人とは、みずほ証券です。

■組入資産の明細

国内株式

銘柄	期首(前期末)		当 期 末	
	株 数	株 数	評 価 額	評 価 額
	千株	千株	千円	千円
化学 (1.9%)				
デクセリアルズ	35	45	194,760	
機械 (9.7%)				
ディスコ	—	10.5	310,432	
平田機工	17	17	101,660	
タツモ	—	15	52,500	
小松製作所	55	—	—	
ハーモニック・ドライブ・システムズ	30	—	—	
ダイキン工業	13	—	—	
サムコ	36	36	163,260	
ホシザキ	46	46	214,084	
三菱重工業	—	20	162,440	
電気機器 (47.3%)				
イビデン	—	30	194,220	
ミネベアアミツミ	50	—	—	
日立製作所	35	35	355,950	
富士電機	20	28	169,176	
KOKUSAI ELECTRIC	—	34	102,510	
ソシオネクスト	—	11.5	138,517	
東光高岳	45	45	92,655	
ダブル・スコープ	55	55	52,855	
ダイヘン	—	5	28,700	
テラプローブ	—	35.2	208,736	
日本電気	27	34.6	274,551	
ルネサスエレクトロニクス	135	120	291,480	
アルバック	25	15	93,510	
ソニーグループ	37	22	277,860	
メイコー	—	42	173,040	
スミダコーポレーション	90	90	103,140	
精工技研	29	29	40,890	
日本光電工業	—	50	182,900	
キーエンス	7	7	425,880	
日置電機	27	16.4	103,976	
イリソ電子工業	26.6	—	—	
レーザーテック	5.5	—	—	
日本アビオニクス	27	27	201,690	
図研	50	50	201,500	
ファナック	50	—	—	
芝浦電子	6	6	34,440	
ローム	20	80	212,960	
三井ハイテック	22.4	22.4	158,838	
村田製作所	19	100	281,950	
小糸製作所	80	80	179,200	
東京エレクトロン	9	15	341,550	

銘柄	期首(前期末)		当 期 末	
	株 数	株 数	評 価 額	評 価 額
	千株	千株	千円	千円
輸送用機器 (2.6%)				
デンソー	38	120	269,400	
川崎重工業	50	—	—	
精密機器 (2.1%)				
トプコン	100	—	—	
朝日インテック	78	78	214,071	
その他製品 (0.4%)				
イーディーピー	30	30	40,080	
情報・通信業 (27.3%)				
S H I F T	9.5	8	267,200	
インターネットイニシアティブ	90	90	234,090	
ラクス	75	55	143,440	
プラスアルファ・コンサルティング	75	68	181,968	
ビジョナル	18	18	139,320	
セーフイー	109.9	109.9	88,029	
メルカリ	55	55	148,225	
スマレジ	85	85	241,995	
カオナビ	49	49	107,310	
S a n s a n	110	110	172,480	
モデル	53	43	183,395	
オービック	12	11	255,860	
サイボウズ	90	90	187,740	
ネットワンシステムズ	35	—	—	
スカパーJ S A Tホールディングス	100	200	136,000	
カプコン	50	45	217,215	
コナミグループ	18	18	134,046	
銀行業 (2.4%)				
楽天銀行	90	90	247,050	
サービス業 (6.4%)				
弁護士ドットコム	33.5	33.5	149,577	
アドベンチャー	19	—	—	
バリューHR	88	88	126,632	
ジャパンエレベーターサービスホールディングス	90	90	203,220	
Mac bee Planet	13	13	186,420	
合 計	株 数	株 数	評 価 額	評 価 額
	2,793.4	2,872	10,396,575	10,396,575
	銘柄数 < 比率 >	59銘柄	58銘柄	< 96.1% >

(注1) 銘柄欄の () 内は、期末の国内株式評価額に対する各業種の比率です。

(注2) 合計欄の < > 内は、期末の純資産総額に対する評価額の比率です。

(注3) 評価額の単位未満は切捨ててあります。

■投資信託財産の構成

2023年12月5日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
株 式	10,396,575	94.5
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	607,320	5.5
投 資 信 託 財 産 総 額	11,003,896	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨ててあります。％は、小数点第2位を四捨五入しています。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2023年12月5日)現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	11,003,896,555円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	603,780,555
株 式(評価額)	10,396,575,800
未 収 配 当 金	3,540,200
(B) 負 債	179,989,815
未 払 金	81,786,468
未 払 解 約 金	6,220,340
未 払 信 託 報 酬	91,896,098
そ の 他 未 払 費 用	86,909
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	10,823,906,740
元 本	8,757,378,666
次 期 繰 越 損 益 金	2,066,528,074
(D) 受 益 権 総 口 数	8,757,378,666口
1 万 口 当 たり 基 準 価 額(C/D)	12,360円

(注) 期首における元本額は9,141,480,701円、当期中における追加設定元本額は574,437,032円、同解約元本額は958,539,067円です。

■損益の状況

当期 自2023年6月6日 至2023年12月5日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	53,371,033円
受 取 配 当 金	53,486,740
受 取 利 息	312
そ の 他 収 益 金	54
支 払 利 息	△116,073
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△347,821,505
売 買 損 益	751,848,899
買 入 損 益	△1,099,670,404
(C) 信 託 報 酬 等	△91,983,007
(D) 当 期 損 益 金(A+B+C)	△386,433,479
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	2,907,312,595
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	△454,351,042
(配 当 等 相 当 額)	(3,260,828,401)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△3,715,179,443)
(G) 合 計(D+E+F)	2,066,528,074
次 期 繰 越 損 益 金(G)	2,066,528,074
追 加 信 託 差 損 益 金	△454,351,042
(配 当 等 相 当 額)	(3,260,828,401)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△3,715,179,443)
分 配 準 備 積 立 金	2,907,312,595
繰 越 損 益 金	△386,433,479

(注1) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 分配金の計算過程

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収 益 調 整 金	3,260,828,401
(d) 分 配 準 備 積 立 金	2,907,312,595
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	6,168,140,996
(f) 1 万 口 当 たり 当 期 分 配 対 象 額	7,043.36
(g) 分 配 金	0
(h) 1 万 口 当 たり 分 配 金	0

■分配金のお知らせ

収益分配金につきましては基準価額水準・市況動向等を勘案し、無分配とさせていただきます。

《お知らせ》

約款変更のお知らせ

■新NISA制度の成長投資枠の要件に沿った表記に改めるため、デリバティブの使用目的を明確化しました。
(2023年9月6日)